

# 出直し美濃加茂市長選告示

逆転有罪判決を受けた岐阜県美濃加茂市の藤井浩人前市長(32)は、上告中との辞職に伴う出直し選と同様に29日無罪を訴えつつ、市長続投の是非などを問う異例の選舉戦が幕を開けた。

市長選が22日、告示された。いずれも无所属で市民団体代表の新人、鈴木勲氏(72)と、再選を目指す藤井氏が立候補を届け出、新人と前市長の一騎打ちの構図となつた。投票日は岐阜県知事選と同じ29日。無罪を訴えつつ、市長続投の是非などを問う異例の選舉戦が幕を開けた。

## 新人・鈴木氏

## 「選挙を私物化」批判

市役所で自ら届け出を済ませた鈴木氏は午前中、事務所で第一声を上げ

た。「自分の裁判の話ばかりするのは選挙の私物化だ」「本来なら不要な選挙だ。こんな選挙は認められない」晴れ渡った寒空の下、鈴木氏は集まつた人を前に、藤井氏の政治姿勢をこう批判した。

鈴木氏は街頭演説では、コンサルタントとして都市計画に携わった経歴を強調し、「空き家を有効活用したい」などと主張した。

藤井氏が当選した場合、任期は1期目の残りの6月まで。鈴木氏が勝利すれば、任期は4年となる。

第一声を上げる鈴木氏(22日)

## 前職・藤井氏「もう一度任せて」

藤井氏は午前9時ごろ所で出陣式を開いた。イメージカラーの緑色



第一声を上げる藤井氏(22日)

## 苦勞人に「待つていた」

この時を待っていた

。大相撲初場所で22日の千秋楽、結びの一番で横綱白鵬を下し初優勝に花添えた大関稀勢の里をたえよう、寒風の中ファンらが両国国技館(東京・墨田)に集まつた。大関昇進後、賜杯まで約5年。「苦勞人が立派だぞ」という笑顔を見ると、白いオーブンカーペで両手を広げて笑顔を見せる

めでとう

立派だぞ

」立派だぞ

」立派だぞ